

1.計画について

持続可能な公共交通を目指す計画 期間：令和5年度～令和9年度の5年間

(1) 地域が自らデザインする地域の交通

- ①数値目標を設定 利用者、収支、行政負担額などの定量的な目標の設定
- ②数値目標を毎年度評価し、改善を図る。

(2) 輸送資源の総動員による移動手段の確保

- ①鉄道、路線バス、乗用タクシーなどの計画から新しい公共交通モードも含めた計画

(3) 効率的かつ利便性の高い地域公共交通の実現

- ①路線の見直しや乗り継ぎのしやすさ、ダイヤ・運賃の設定など

2.本市地域公共交通のあり方について

市民全ての方が、公共交通を利用可能となるよう現状の公共交通モードを再構築していく。

交通モード	路線	方針1	方針2	方向
鉄道	牟岐線（市内4駅）	利用しやすい環境整備		利用者状況、ニーズ、収支状況等を調査・分析し、持続可能な公共交通モードの再構築を図る。
路線バス・協定路線	和田島線（昭和町経由）	利用状況からの一体的なダイヤ・ルートの見直し等	協定路線と幹線路線の一体的な運用、すみ分け	
	和田島線（イオンモール経由）			
	目佐和田島線			
	立江線	利用状況からの一体的なダイヤ・ルートの見直し等		
	小松島立江線			
路線バス・幹線路線	田浦線	利用状況からの一体的な再編		
	勝浦線			
	橘線			
	小松島線			
乗用タクシー	-	利用者ニーズへの対応（空白時間帯の解消等）		
(新) デマンド交通	公共交通空白地帯から市内拠点駅・施設などへをイメージ	公共交通空白地帯の解消		